

第4回 北秋田市保育園等の在り方検討委員会 議事録

平成 25 年 3 月 19 日

<欠席委員>

金澤委員（東保育園保護者会長）

<代理委員>

神成委員→成田（県北報公会理事）

丹波委員→小塚委員（しゃろーむ包括園長）

1. 委員長あいさつ

3 月も半ばとなり、春らしい天気となりました。長い冬だったなあと感じております。今回年度末でそれぞれ皆様お忙しいところお集まりいただき、御礼を申し上げます。特に保護者の皆様にはお仕事中にありがとうございます。

今回は 4 回目の開催です。前回は研修も行いました。今日の次第にもある通り、研修については皆様のご感想を聞きたいと思います。本日は 2 時間程度を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。なお、神成委員の代理として県北報公会の成田常務が出席されていますので、よろしくお願い致します。

2. 議事

委員長	<p>議題（1）鹿角市こども未来事業団・鹿角市花輪さくら保育園視察まとめについて</p> <p>1 月 30 日の視察は、保護者会の方で 2 名欠席がありましたが、その他の方々は参加されました。それでは事務局からまとめと報告をしてください。</p>
事務局	<p>お手元に視察時の質疑応答をまとめたものをお配りし、ご覧いただいております。ご参加いただけなかった方には、どのようなやり取りがあったか分かると思います。結論から申しますと、鹿角市はこども未来事業団と言う法人を設立し、市の保育園を指定管理したという状況でした。大変立派な保育園がたくさんありました。形としては指定管理ということで、鹿角市の担当職員や事業団の方からも、必ずしもこれが最後の形だとは考えていないという説明がありました。</p> <p>参加された方々から感想いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>この委員の中では 7 名参加しています。特に出川委員は研修の提案者でもありますし、2 回見てきたとのことですので感想をお願いします。</p>
出川委員	<p>私と近藤さんが、2 回色々なお話を伺いに参りました。一言で申し上げますと、経営規模がものすごく大きくて、建物も我々と比較してとてもじゃないが想像を絶すると思いました。小学校よりも大きいのではないかと。比較しようがないということが正直な感想です。非常に規模が大きすぎます、費用対効果の面から言えば経営効率はどうか、色々な問題や課題も多いというのが率直な感想です。保育経営の事業、放課後の学童の健全育成事業、これらの保育事業</p>

	<p>を小学校単位で行い、保育経営もなさっています。子育て支援のお母さんたち、指導者の養成も大きな事業だなと感じました。その他、色々細かい点はあるようですが、保育園経営を何と比較したら良いか、どう感想を申し上げたら良いか非常に捉えにくいと感じました。質問の中で、職員の問題があります。職員がかなり多いのですが、待遇面で事業団の民給費 2%ではとてもではないが経営できないと。どの位であれば経営できるか、現状は 10%ですが、10%でも難しい。市からの持ち出しですね。比較にはならないし、なかなか難しいということです。保育所だけであれば、民給費 2%いただければ何とかできそうな感じがするが自信がないというお話でした。</p>
委員長	<p>近藤さんも 2 回視察されたそうですがいかがですか。</p>
近藤委員	<p>出川委員のお話に尽きると思います。私たちの保育園とは規模が違うし、保育だけでなく色々な形の事業をなされていました。当市においても、保育だけでなく鹿角市のようなものが作られてくれば良いと思います。というのも、生活習慣で色々な形のものが出来ている訳です。鹿角市のような施設があれば、解消されていくのではと感じます。0 歳児、1 歳児の保育状況をよく見るのができなかったのは残念でした。事業団にも、非正規職員が多いという問題がありました。当市でも非正規職員が多い状況で、どこでもそのような形を取らざるを得ないのか、少子高齢化等先が見えない中でそのような形になっているのかと感じました。保育の質を向上するとすれば、職員の身分保障が第一でないかと考えますが、鹿角市の実態がちょっとつかめなく帰ってきたと思っています。</p>
丹波委員（代：小塚）	<p>初めて視察しました。何よりも、保育室が大きく、0 歳児・1 歳児の部屋も、我々は最低基準を最高基準かのような形で設定される場合があるのですが、その枠を超えた位のゆったりとした 0 歳児未満児の保育室を見たときに「すごいな、鹿角市の持ち出しは大きいな、子どもを大事に考えているのかな」と感じてきました。しかし、これを民営化するとすると、コスト面で事業団へ負担がかかると感じました。今回はこれからの北秋田市の将来を考えたときに、色々な面で参考になる部分を見させていただいたと感謝しています。</p> <p>今、民給費のこともでしたが、そこもこれから真剣に考えていかないと、私たちは 12%ですが、それでもきつい部分があります。これまでは措置費の形であればある程度前に進むこともできましたが、運営費の形でくると、維持管理も含め民間はきついところに入ってくるし、職員の給与をある程度昇給しなければならぬ時に、これから本当に市として少子化問題に取り組む必要があると思いました。ありがとうございました。</p>
下山委員	<p>まず、広くて綺麗で良い保育園だったと思います。いずれは民間でやるつもりで計画されたのに、いずれ老朽化したり子どもが増えて改築したりと、お金の持ち出しがあったと聞きました。結局、お金がどんどんかかり市で運営しているのと変わらない状況ということ、それと先ほど近藤委員がおっしゃってま</p>

	<p>したが全員が正規職員ではないということでした。なかなか難しいものだと感じました。広いし、先生方が頑張っていると感じました。</p> <p>病児保育部屋が2つ続いてあったのですが、あんなに広いのに子どもは1日2人しか預かれないということでした。あまり利用されている感じではなかったし、結局は子どもを受け入れて、病児病後児に職員を回すとなるとかなり厳しいものがあるのかなと思いました。</p>
田口委員	<p>私も2回程参加させていただきました。問題点、良い点は皆さんと同じように感じてきました。園自体大きくて素晴らしかったし、福祉プラザ・児童センターなどの施設があり、小さい子から大きい子までの遊び場・居場所づくりとあったので、まさにその通りで地域ぐるみで子どもの育成にあたっていると感じました。皆さんおっしゃられたように、ここまで来るには受託先や正規職員の派遣など様々な問題があったと思うので、北秋田市がここまでになるには何年かかるのだろう、このように立派にできるのかなと感じました。冊子も素晴らしかったし、子育て支援も素晴らしかったので、自分たちがやりたい気持ちもあるけれどどこまでできるのかなと思いました。</p>
出川委員	<p>鹿角市で230人弱の児童数ですが、経営の効率が上がる点からいけば60人が適正であると。鹿角市はその約4倍です。</p> <p>内容は非常に素晴らしい。必要な事業はほとんど網羅されています。</p>
委員長	<p>なぜ指定管理にしたのかと、経緯を聞いていると民間委託を希望したがそこに至るまで、まず指定管理でということであったと思います。色々と改善はしてきているようですが、もう少し工夫とスピードアップが必要かなと感じました。北秋田市はどのような方向に行くのか、市の部長として、三上委員いかがでしょう。</p>
三上委員	<p>検討委員会は今日で4回目となりますが、委員会の検討結果に基づいて、スピード感をもって成果の出る形で市の計画をつくらなければならないと思いますので、議論を尽くしてお話いただければと思っています。</p>
委員長	<p>これまで視察に参加した方々からお話を聞きましたが、参加されない方々は話を聞いただけではわかりづらいかと思いますが。</p>
委員長	<p>保護者の皆さんは、これまでの話を聞いた感想などありますか。</p>
堀内委員	<p>僕たちは保護者代表として参加させていただいています。親の立場からしてみれば、保育レベルが同じであれば公立でも民営でも構わない所なのですが、経営側の立場に立った時に、どこが一番得かとらえながら進める方が良いと個人的に思います。</p>
佐々木委員	<p>堀内さんに発言いただいたとおりです。</p>
委員長	<p>市がどのように考えているか分かりませんが、例えば民営化する場合に、前提として子どもの受ける保育の質が、直営・民営問わず同じであることや、サービスの質が良くなる面、悪くなる面もあるでしょう。出発する時の前提として同じレベルであることが大事だと思います。経営面、将来性を見たうえでど</p>

	<p>うしていったら良いか考えていけば良いと思います。今回の視察研修は、良い点悪い点どちらも見ることができました。</p> <p>それでは次第（２）に移ります。事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>議題（２）第３回検討委員会議事録について</p> <p>お手元に資料をお配りしています。第２回委員会分までは「まとめ」をお配りしましたが、第３回委員会では効率的な運営としてどのようなやり方があるか、民営化でどのくらい金額が違うかなどご説明し、皆さんから意見を頂戴いたしましたが、明確な方向性は出なかったように思います。今、視察の感想等を頂戴して進むべき道が見えてきたように感じます。従いまして、前回の議事録・視察の質疑応答・本日の議論を「まとめ」として次回の委員会時にお示ししたいと思います。</p> <p>今回は提言をまとめるスケジュールとなっておりますけれども、この場でご意見があれば出していただきたい。事務局はあくまでまとめる立場ですので、議論になかったような提言になることはないとお考えいただきたいと思います。</p> <p>第３回委員会の議題の中で、「保育の質の向上」がありましたが、欠席された田口委員よりご意見の文書を頂戴しております。本日ご出席されておりますので、ぜひご発言いただければと思います。</p>
田口委員	<p>欠席しましたので、自分の考えを届けなければならないかと思い、こども福祉班へ届けました。</p> <p>保育の質の向上ということで、私は経営者ではないのでお金の面ではあんまり言えませんが、保育者の立場から保育の質・保育士の資質・保育園の質・ニーズに答える保育園等色々と考えてみると、お金の面だけでなく、子どもが平等に保育を受けて、楽しく安全な保育園生活を送れるようにするのが保育園の務めだと思います。</p> <p>鹿角市でもどこでも問題になっておりますが、正規・非正規職員の問題です。非正規職員が張り切って意欲的に保育にあたることができるよう、子どもに向き合えるようにしてもらいたい。市職員は毎年採用されるのに、なぜ保育士の採用はないのか常に感じています。非正規で十数年経過している職員もおりますので、経験年数が長い保育士から正規職員に切り替える方法を考えると、いくら今募集をかけても非正規職員の応募に申し込む人がいません。せっかく夢をもって養成施設を出てくる人たちもいるので、採用の仕方を市で考えてもらいたい。お金の問題だけでなく、非正規職員が「私たちも職員になれるんだ」と先が明るく、意欲をもって保育にあたることができるよう考えてもらいたいと常に思っています。</p>
委員長	<p>田口委員から発言いただきました。皆さん議事録には目を通されたでしょうか。ネットで公開するようですが。</p>
出川委員	<p>その必要はありますか。必要ないと思います。</p>

委員長	必要があるかどうかではなく、当初委員会を開催するにあたり、原則公開するという事で取り決めてしていますので。
出川委員	このようなことが検討された、この方向性が望ましいという意見が出たといった形での公開は良いと思いますが、このように一字一句公開するという事はなぜ必要なのか、私は疑問を持ちます。
委員長	一番最初に公開することを決めましたよね。
出川委員	公開は良いと思いますが、その内容です。言わせていただきたいのですが、どうすることが望ましいか一つも討論されていないのに、何をもってまとめるのでしょうか。発言していないことをまとめるとなるとおかしいと思います。まとめの内容が十分検討された内容なのかどうかです。民営化や指定管理など、その場合にどういう形が望ましいとか一つも話し合われていません。ネット公開と言われても、私は公開するような発言は一つもありません。そのような記憶はありません。
委員長	様々な意見がありますが、これまで話してきたこと全体をプロジェクトチームで加味してまとめるだろうと思います。そのまとめを委員会で議論すればよろしいのでは。
出川委員	それは分かりますけれど、事務局と言えば語弊があるかもしれませんが、民営化とか指定管理が前提ではないからその話は、と常にストップされてきた気持ちがあります。意見に入り込めないんですよ。何回も話しているのに、ありきではないと言われます。
委員長	当局としては、まずここで議論させようと。意見があればこの場で発言ください。当局としてありきでないという話であって、我々委員は自由に議論してくださいということですので思っていることを発言してください。
丹波委員（代：小塚）	検討会なので、様々な意見が出るのは当たり前だと思うし、それを通しながらだんだん方向性について入り込んでいく形だと思います。
委員長	初めから市が誘導するやり方はしないということです。
出川委員	これから入り込んでいけばいいのですね。
丹波委員（代：小塚）	入り込んでいけないといけないのですよ。
出川委員	今回はまとめとのことなので、当初から時間が足りないと思ってきました。
委員長	何十時間検討すればよいという話ではないですね。
出川委員	十分に議論されるのであれば発言を撤回します。
委員長	ネット公開は触れていなかったですが、全部公開ですよとお話した経緯があります。ネットについても良しとすべき思っていますがいかがでしょうか。
丹波委員（代：小塚）	ここに来た以上は私たちは責任ある発言だと思います。住民にとっては、指定管理審議委員会の議事録も公開されております。そういう時代になったのかなと思います。箇条書きで公開するのかどうか分かりませんが、検討してもらいたいと思います。

出川委員	すみません、私の発言ですがネット公開はしても構いませんが、必要性については、この形そのまま公開するのはいかがかということです。
出川委員	事務局、公開しているのですか。していないのですか。
事務局	本来であれば、リアルタイムで公開したいのですが、議事録を起こすのに時間がかかります。確認作業にも、かなり気を使っています。なかなか難しいです。一度紙に起こしたものを委員会で見ていただいて、これは違うなどご意見いただきたいと思いますが、そうしていると時間がたってしまいます。議事録全てではなく、発言の要旨のみ抜粋も可能かと思いますが、事務局の方で都合の悪い発言を外したとなるかもしれないので非常に迷っています。いくつかの委員会のまとめとして、意見を並べて第 5 回・第 6 回でまとめていきたいと思っています。
委員長	第 1 回・第 2 回も載せていないのでしょうか。
事務局	載せておりません。資料については載せても良いかと思っています。結論を誘導するような、都合の良い資料を作成している訳ではありませんから。
委員長	<p>尻切れトンボになって真意が伝わっていない箇所があるように思いますが、それでも公開するのだと思っていますが、事務局に検討していただきたいと思っています。委員の真意を確認していただきたい。今のところは一言一句公開の形はとらないということです。</p> <p>また、元にもどりますが、第 3 回議事録について不都合な部分はありませんか。P5 について、整合性がとれていないように感じます。</p>
事務局	誤解を与えるような表現だと思いますので、資料を確認の上訂正いたします。
出川委員	我々の勉強不足もありますが、数字でものを申されても分からないのです。言った言わないについては分からないので、間違いでなければ良いと思います。
委員長	話が前後しますが、鹿角市で視察研修を行いました、大規模保育園でした。例えば、人口減少、出生減少、小学校統廃合が進んでいきます。保育園も統廃合が想像されます、可能性は 0 ではありません。浦田保育園は地域の根強い愛着からなかなか休園できませんでしたが、何人になったら統合しましょうとか、どこかでけじめをつけないといけないと思います。人数のけじめは早い段階でつけておかないと思います、いかがでしょうか。
丹波委員（代：小塚）	先ほど田口委員から正規職員の話がありましたが、現実的に子どもは減少しています。市役所であれば、正規職員が市役所に異動できるかもしれません。民間の場合は、児童数を想定して保育士を用意しても、児童が少なくても金が足りず給料が払えない現実があります。2/3 は正規職員で残りは臨時職員、4 時間勤務など細かくつないでいかないと支払いできない状況です。そうしていかないと回せないです、全部正規職員でフルタイムとできません。職員の身分をきちんと守ってもらえる体制づくりが大事だと思います。ランニングコストもかかってきます。北秋田市で子育てしていく上で、身分を保障しながら、どのような形で運営してもらえば保育の質を高めていけるのか、この委員会で真

	<p>剣に議論して保育の姿を出していただければいいと思って参加しています。現実には民間でそういうことがあると。鹿角市では、県補助があった時代の市補助分を継続しているようです。今後の在り方を真剣に議論できればと思います。</p>
出川委員	<p>私の考えに近づいてきた感じがします。直営の場合何が問題なのか、そこを把握できていたのか、子ども達の保育という大きなテーマに即して考えた場合今の民間経営を改めるべきかどうか、議論して問題点を明確にしなければならない。検討し深めていくべきだと付け加えます。</p>
委員長	<p>最終的にはお金の問題になります。全員正規職員であれば良いと誰しもが思いますが、財政問題があります。効率的な方法として民営化があげられていますが、民営は不安定な面もあげられています。どちらが良いかということになりますね。保育園ではないのですが、私のいる愛生園は定員 300 人です。非常に効率が悪いのです。では小規模化すれば良いかと言うと、行政側で許されません。お金を別に考えれば、大規模な施設は管理の面から見れば楽です。同じサービスであるならば、お金がかからないというのは大きい。いかに効率的にお金を使うか。</p>
出川委員	<p>全国的な問題ですね、いわゆる財政上の問題。一番メインになるのは、どこの自治体もお金がない、お金をかけられないということです。秋田市は、1つだけ公立保育園を残してそれ以外を民営化すると決まっているようです。きちんと問題を抑えて話し合わないとも焦点がぼけてしまうと思います。</p>
近藤委員	<p>私の所は規模の小さい保育園ですが、平成 25 年度の試算をしてみました。当初 0 歳児 2 名、それをベースに試算すると今までの形で職員給与・身分保障をすることは難しかった、職員 1 名に退職してもらわないと難しい状況でしたが、その後 1 名追加申し込みがあったので退職を募らず今まで通りの運営ができるようになりましたが厳しいです。暖房費でも何でも節約して限度ぎりぎりまで落として当初の試算をしましたが、退職する職員が出るという結果となったのです。</p>
委員長	<p>一般論として厳しいというお話は聞きますが、保育園さんからこのような具体的なお話を聞くのは初めてですね。色々な事があるかと思いますが、他にも具体的なお話なり考えなりお話を聞かせればと思います。</p> <p>それでは議事（3）に移ります。</p>
事務局	<p>議事（3）保育所施設等の状況について（資料 11）</p> <p>◆資料 11 説明</p> <p>初めに目が行くのは建築年だと思います。七日市保育園と鷹巣中央保育園が昭和の時代の建築です。鷹巣東と米内沢は平成になってからですが、かなり年数が経過しています。参考までに下欄に税法上の耐用年数を記載してあります。耐用年数が過ぎたから使えなくなるというわけではありません。</p> <p>乳児室は 0 歳児の部屋、ほふく室は 1 歳児、保育室は 2 歳児以上の子どものための部屋です。部屋面積による基準もあり、受け入れ可能数が決まっていま</p>

	<p>す。年齢によっても異なっています。</p> <p>平成 25 年 3 月現在、鷹巣中央保育園ほふく室が受入可能児童数 16 名に対して入所児童数 17 名とオーバーしているように見えますが、乳児室・ほふく室が一緒になっていますので、受入可能児童数も合算してカウントできるため、28 名ちょうどとなります。</p> <p>0 歳児、1 歳児の人数の伸びで受入面積が足りない施設も出てきます。</p> <p>増築や建て替え、改修を要する施設も出てきますが、民間であれば、補助金を利用することとなります。</p> <p>◆資料 12 説明</p> <p>保育所を整備するために利用できる補助金の一覧です。整備内容や地域の状況、定員、待機児童数などによって利用できる補助金・補助率は違ってきます。</p> <p>また、利用できるのは民間の保育園だけです。公立の保育園には何の補助金也没有ありません。</p> <p>最近、この補助金を活用したと思われる大館市のはちまんの森保育園の事業内容を参考までに記載しました。</p>
委員長	<p>現在の施設についての状況でした。資料 11 の例えばあいかわ保育園は乳児室・ほいく室共に定員まで余裕があるが手狭とするのはなぜですか。</p>
事務局	<p>◆あいかわ保育園の乳児室・ほふく室の図を用いて説明。</p> <p>部屋の形状の関係で、乳児室・ほふく室に通路部分として使用されているスペースがあり、実際に使用できる面積が狭くなっているためです。他の保育園でも似たような状況があります。従って部屋面積だけで受け入れ可能数を計算できない面もあります。</p>
委員長	<p>結論として、作り方が悪かったということになるのでしょうか。</p> <p>阿仁合保育園は、もともと保健センターだったところですね。</p>
田口委員	<p>阿仁合保育園は、園児数に対して施設が広すぎます。部屋自体が広いため、ボイラーを利用しても寒く感じました。保健センターも兼ねていて、園児以外の利用もあるので節約ばかりもできない。他の保育園から通園バスで子どもを連れてきたいくらいです。</p>
丹波委員（代：小塚）	<p>阿仁合保育園は広いですね。病院にもできるかもしれない。逆に旧鷹巣町の保育園はどれも狭い。ぎりぎりの面積で保育園を建てるから。やはりお金がないからです。</p>
委員長	<p>私立保育園の皆さんの悩みはなんですか。</p>
出川委員	<p>綴子保育園の場合は、看護師配置と医務室の整備です。病児病後児の保育が可能な保育室も必要かと思います。障がい児保育を実施できる保育室も必要になってくると思います。ただ私立の場合お金がありません。施設も非常に狭いです。まったく余裕がありません。</p>
近藤委員	<p>七日市保育園も同様で、狭い中で運営していますから、出川委員の言ったように整備できたら良いですがお金がないのが実態です。敷地はたくさんありま</p>

	すが。
神成委員（代：成田）	<p>南鷹巣保育園は平成 20 年新築で、施設にはおおむね満足と思います。看護師配置をはじめて 2 年経過しますが、看護師の出番はそれほどありませんので、普段は 8～9 割は保育業務をしながら何かあった際に対応するといった形です。</p> <p>複数の施設を経営しているため、保育園の人件費を圧迫した際に、人件費緩和のために人事異動も可能です。法人職員採用の面接に立ち会いますが、新卒の方で、非正規職員・臨時でもいいという人はゼロです。一定期間非正規職員として働いたのち、正規職員へ登用するという制度もあります。</p>
委員長	<p>私立はとにかく経営が厳しいと聞こえますね。このようなお話を聞いて保護者の方々はどう思われますか。</p>
佐々木委員	<p>普段様々な要望を出していますが、そんなことを言っていられないかと、私はあいかわ保育園に通園していますが、建物的にも恵まれていて逆に感謝しなければいけないなというところです。</p>
堀内委員	<p>保護者の立場からお話させていただくと、例えば阿仁合保育園などは出生数や園児数から適正規模でつくれなかったのかな、と疑問に思うところです。</p>
委員長	<p>与えられた中でいかに効率的にやるか、それが経営者の仕事だと思います。与えられた環境の中で仕事していますので、大きければ小さければという話ではありません。私の所（秋田県民生協会）の話ですが、臨時職員が 100 人位いて、準職員と言っております。全員を正規職員にできればよいですが、年 2 億円掛ましになります。現在 21 億円ほどですので、経営できなくなってしまう。バランスを取りながら経営しないといけません。</p> <p>七日市、鷹巣中央ともに古い建物です。資料 12 の設備補助金制度を見ても期限がありますね。</p>
事務局	<p>補助事業は、期限延長されるのではという見込があります。今後「子ども・子育て関連法案」に伴って新たな動きがあると思います。</p>
委員長	<p>いずれにしても、行政が保育園を建設しても一銭の補助金も降りてこないということですね。</p>
丹波委員（代：小塚）	<p>南鷹巣保育園で看護師さんの出番が少ないということですが、しゃろーむは看護師配置をしていて、とても助かっています。医務室は畳 1 枚分しかありませんが、ベットを置いてスタッフが近くにいます。毎朝玄関で全員の健康チェック、薬の管理をしてもらっています。適切に保育室の環境を整えてくれるのでインフルエンザは 1 人も出ませんでした。工面して配置しているのです。</p>
委員長	<p>私は以前合川町長時代の平成 15 年に、保育園へ看護師を配置しました。これはたまたま看護師に余裕があったからでした。その後、公立の保育園のすべてに看護師が配置されるようになるとは考えていませんでした。</p>
丹波委員（代：小塚）	<p>市としても合併特例債が終了した時に、民生費にどれ程の影響が出るか考えていかなければならないですね。今から準備し、対応しておかないといけない。民間の保育園に独自の運営費補助を出すとしても、住民の理解を得ないとい</p>

	けない。
委員長	若い世代が安心して子育てできる仕組み、住み続けられるような仕組みを作っていないといけないと思います。全体の保育園を考えることはとても大切だと思います、大先輩の方々の良いお知恵を出していただきたい。
事務局	<p>議事（５）その他について</p> <p>委員会の開催日程ですが、第５回を４月２３日（火）、第６回開催を５月２２日（水）で予定しております。</p> <p>最新の公立保育園の状況についてご報告します。</p> <p>新聞等で報道されていますが、２２名の求人に対して５名の応募がありました。新卒者もいたので、周囲にいないか聞きましたが、いないとのことでした。各保育園の園長先生などにも協力をお願いしていますがなかなかいないところです。保育の質の向上のためにも有資格者が欲しいというのが本音です。結果として、また保育補助に頼らざるを得ないという状況です。</p> <p>３月時点での入園申込の状況ですが、昨年度とほぼ同数となっています。出生数は減少していますが、入所申込は増加傾向にあります。特に０歳児の申し込みが増えています。</p> <p>先週の段階で、北秋田市の出生数は１５３人です。先般視察した鹿角市では、年間の出生数が約２３０人ということでした。人口に比して、鹿角市には若い子育て世代が多いのではないかと思います。</p> <p>旧町単位で見ますと、旧阿仁町の出生は８名です。しかし、平成２５年度、阿仁合保育園と大阿仁保育園への０歳児入所申込はありませんでした。</p> <p>委員についてです。人事異動や保護者会代表の変更等もあるかと思いますが、委員の方々には、最後までお付き合い願いたいと思います。</p>
委員長	退職される三上委員から、一言挨拶いただきたいと思います。
三上委員	<p>大変ありがとうございます。大事な時期に検討委員会をつくり議論を進めてきました。年度をまたぐことになりますが、議論を性急にまとめるのではなく、委員皆さんの意見を十分に吸い上げ、今後市のプロジェクトチームで今後の市の保育の在り方を検討していきます。安心して子供さんを預けられる環境を作っていきたいと思います。そのために、皆さんのお力を貸していただければと願います。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
近藤委員	検討委員会終了後、情報交換を継続して行いたいので、そのような場を設定してもらえないでしょうか。
事務局	今後、子育て関連三法案で、「こども・子育て会議」の設置が必要になります。この検討会を引き継いでいければと考えております。メンバー構成は若干変更になるかもしれません。検討すべき課題・テーマは大きくなると思います。
三上委員	北秋田地区民間施設経営者協会との協議も継続して行いたいと思います。
丹波委員（代）	保育士等处遇改善臨時特例事業について、説明会を開催していただきたいと

小塚)	思います。
事務局	4月に入ってから開催を予定しております。
出川委員	市の保育士の求人に応募がないというお話ですが、処遇改善等はされているのでしょうか。
事務局	市役所にはかなりの種類の非常勤職員がいます。保育士に関しては、月額で3,300円上がりました。時給に換算すると947円になります。さらに経験加算は、2年以上継続勤務でアップしています。月額18,000円上がった人もいます。しかし、それでも民間の保育園に比べるとまだ低いです。なぜなら、市には非常勤職員にボーナスを出すという仕組みがないからです。また住宅手当もだせません。まだまだ改善すべき点はあると思っています。
委員長	応募の件ですが、例えば子どもを持つ方からの応募だと時間帯のマッチング、早番遅番の問題等あるかと思いますが、応募者の状況に合わせて採用側も解決に向けて検討すべきではないでしょうか。結果的に、北秋田市には仕事がない、帰りたくても帰れないという状況になってしまいます。
丹波委員（代：小塚）	例えばしゃろ一むでは、夫の扶養につきたい人は4時間勤務という風にその人に合わせた雇用形態です。柔軟に対応しています。
委員長	求人問題については、お金の話だけではないような気がしますね。それでは本日はこれで終わります。
一同	ありがとうございました。